

小学校での
取り組み

授業実践報告

インターネット TT授業

日本ユニセフ協会では、職員が学校へ出向いてお話をする「講師派遣」の他に、インターネット回線を使用して日本ユニセフ協会と学校を結び、ユニセフ学習を行う「TT授業」を行っています。今回は、2013年10月に実施したTT授業について、名古屋市立桶狭間小学校 山口知泰先生に報告していただきました。

小学校6年生 総合的な学習の時間／国際理解教育

単元名 「問題解決大作戦」

テーマ 世界の子どもたちを地球に住む仲間として意識し、その子どもたちのために、自分たちにもできる身近なことを考えて行動する。

テーマの具体化 同じ年代の世界の子どもたちの置かれている現状を知り、地球上の問題を解決するために自分たちにもできる身近なことは何かを考える。



©山口知泰

学習活動のながれ (4時間：内TT授業2時間)

(1) TT授業① (1時間)

インターネットを介し、日本ユニセフ協会の職員の方から世界の子どもたちの様子について説明いただき、アフリカのサヘル地域の干ばつの話を中心に、「世界の子どもたちと水」について話を聞く。



真剣な様子で話を聞く児童 ©山口知泰



スクリーンには、職員の方と資料が同時に映し出される ©山口知泰

<学んだこと>

- ・清潔でない水により子どもたちの健康がおびやかされていることや、水くみにより子どもたちの教育の機会が失われていることを知る
- ・ユニセフが行っている水に関わる支援等（井戸とトイレの設置など）を知る
- ・下痢による脱水症状から回復を促す「経口補水療法」のやり方をインターネットを通じて実演いただき、家にある塩や砂糖、水を使って自分たちで簡単に作れる方法を知る

児童の感想

・ぼくは、まず水を大切に水をきれいにした方がいいと思いました。貧しい国は、きれいな水が飲めず死んでしまうこともあるので、すごく大切だと分かりました。

(2) グループで話し合い (2時間)

TT授業で聞いた話をもとに、グループで話し合い、地球上の問題を解決するために自分たちにもできる身近なことは何か、まとめる。

(3) 行動しよう!

(2) で決めたことを実際に自分たち自身で実行してみる。

- ・お店などで行っているユニセフ募金に協力する
 - *薬やワクチンを買えるように、多くの子どもたちが学校に通えるように、きれいな水が飲めるように、など「なぜ募金をするのか」を明確にして募金に協力した。

- ・ワクチンを買うためにペットボトルのキャップを集める
- ・地球温暖化や森林伐採を防ぐために、環境に優しい生活をする
 - *実例：節電する、自動車をなるべく使わないようにする、紙や鉛筆を大切に使う、マイバッグを持参する、リサイクルを心がける

(4) TT授業② (1時間)

実行したことをポスターセッションで日本ユニセフ協会の職員の方へ伝える

●ポスターセッションとは

ポスターに各グループの意見をまとめ、それをもとに意見を発表すること。今回は、各グループで3枚のポスターを用意した。

- 1枚目：地球で今起きている問題をあげる
- 2枚目：それらを解決するために、自分たちが実行したことを書く
- 3枚目：その実行策を行うと、どんなよいことがあるのかを書く

授業を終えて

インターネットを介して、日本ユニセフ協会の職員の方に写真や動画を中心に具体的な数値や現状を分かりやすく話していただきました。子どもたちは、地球上で起きている問題を知り、さらには、ユニセフの活動や募金をすることで



マイクをつけて、自分で考えた意見を発表する児童 ©山口知泰

で何ができるのかを知り、学級の半数が貧困から世界の子どもを救うためにユニセフに協力したいと考えたようです。この授業により、同じ地球に住む仲間として、世界の子どもたちについて考えて行動する意識が育まれたと感じました。また、子どもたちは、この学習後、同級生にもポスターセッションで協力を訴え、ほとんどの同級生が自分たちのできる身近なことに取り組んでくれました。

TT授業のメリット

今回、初めてTT授業を体験しましたが、交通費などの費用もかからず、また1回だけでなく数回授業を行うこともできました。インターネットを通じての映像授業では、調べ学習では味わえない生の声でやり取りができるため、子どもたちも楽しんで参加している様子を見ることができました。セキュリティ面も安全で、遠方の学校でも、インターネット環境があれば、簡単に授業が行えるのもTT授業の魅力だと思います。